

令和3年度 新栄地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

新栄地域ケアプラザのエリアは4連合から構成され、それぞれに特徴があります。おおよそ、センター南駅を中心とした新しく開発された茅ヶ崎地域や、早淵地域の新興住宅エリアは、15歳未満の年少人口が高い水準を維持していますが、将来を見据えたまちづくりの視点を組み込み、地域関係者と取り組みをしています。一方、「かちだ地区」は65歳以上の割合が約60%であり、緊急性の高い相談などが多いことから、市営勝田団地を対象とした地域ケアプラザによる「LSA事業（生活援助員見守り事業）」の開始や、買い物等生活支援ボランティア「おたがいさま会」の立ち上げ支援等を行い、「地域包括ケアシステム」の強化を目指しています。また、コロナ禍で、地域とのつながりがない住民や、居住歴の浅い住民などが、気軽に地域とつながりが出来る活動や集いの場がより一層大事になりました。住民同士での見守りや、助け合いの基礎や仕組みをつくり、コロナ禍でも孤立することなく、住み慣れた地域で暮らし続けられる地域づくりを地域と一緒に目指します。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	専門性の高い複数の職種が配置されている地域ケアプラザの強みを生かし、コロナ禍でどのようなことが出来るか、個別支援と地域支援の一体的な展開を6職種で取り組みます。毎月の6職種会議とは別に、アセスメントシートを用いて「CP地域支援会議」を地区ごとに順番に開催します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コロナ禍で地域の集まりが少なくなっている中、各種定例会内で時間をいただけるよう提案させていただきます。その中で地域福祉保健計画の目標をより具体化し、地域の皆さまと共に同じ方向性で地域づくりの支援を行っていきます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	新栄早淵子育てネットワークに参加している機関と連携し、子育てスタンプラリーを実施することで、親子が各施設を気軽に訪れることができます。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	区医師会より派遣されたケアプラザ協力医とともに多職種連携の場（しんちゃんの輪）を4回/年開催し、地域の様々な専門職のつながりづくりに努めます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	各回テーマを決めて、年7回の「介護者のつどい」を開催し、当事者同士の介護負担軽減につながる内容を心掛け実施します。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント